

宣言！広島では「一人ひとりのインバウンドに専任の電腦・通訳案内士」をご提供します

提案者名	谷口 和弘	連絡先	taniguti@hiroshima-cu.ac.jp
------	-------	-----	-----------------------------

- 広島の観光地では、日本語ができないインバウンドが急増中！一方、外国語ができる店員が不足している。また、十分な観光情報が提供されないため広島の宿泊率は低く、観光収入が伸び悩んでいる。
- 本提案は、以上の問題を解決するため、NICT多言語同時翻訳システムやインターネットの観光情報を活用した電腦・通訳案内士（耳飾り型端末：ウェアラブル端末）を開発し、社会実装するものである（国産ウェアラブル端末の開発と産業化）。
- 5Gの持つ「超高速」「超低遅延」「多数同時接続」の特性を有効活用することで世界に先駆けて「一人ひとりのインバウンドに専任の電腦・通訳案内士」を提供する（＝人材不足解消、観光収入の増加）。
- 端末は有料レンタル制にし、期間内に返却すれば、レンタル料の一部を利用者に払い戻す。



電腦・通訳案内士：
同時翻訳・観光案内機能付き
耳飾り型端末
(ウェアラブル端末)



ドジ（同時）翻訳機能の特徴
他の同時翻訳装置よりも
優れた点

耳飾り型端末には「口の動きを検出するセンサ」が搭載されているので、GPS受信機とジャイロセンサを追加すれば、誰が誰に向かって会話しているのかがわかるようになる。
※翻訳を失敗することもあると思うので「同時翻訳」ではなく「**ドジ翻訳**」と名付けた。



「ネット」・「多言語同時翻訳システム」と多数の「耳飾り型端末」を「5G」でタイムラグなく繋ぐ。